

持続可能な交通を目指した 帯広市における取り組み

(社)北海道開発技術センター
企画部 地域政策研究室
研究員 大井 元揮

帯広市の自動車利用の現況

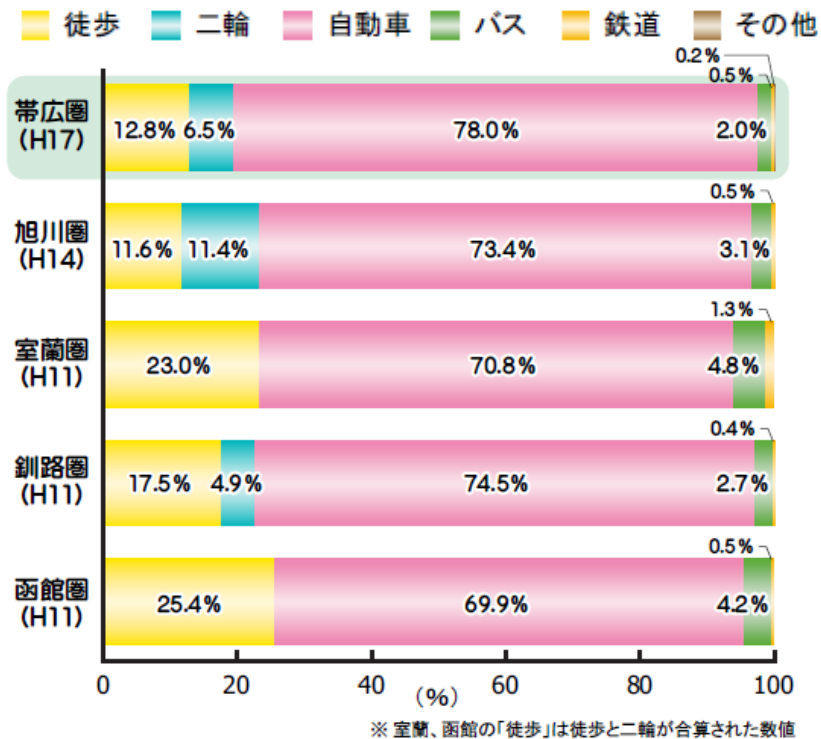


図 圏域別の交通手段

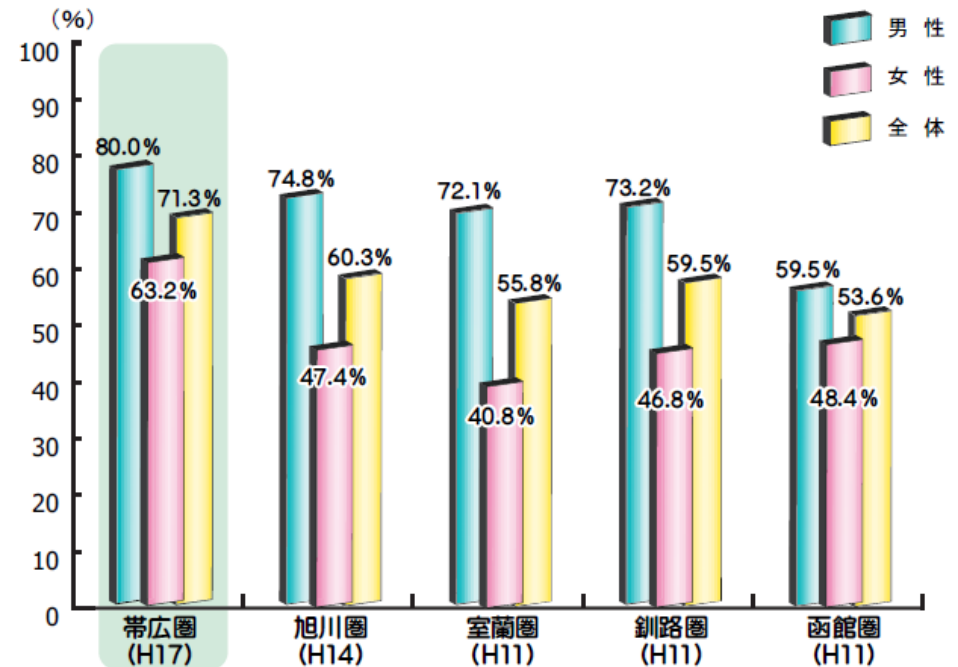
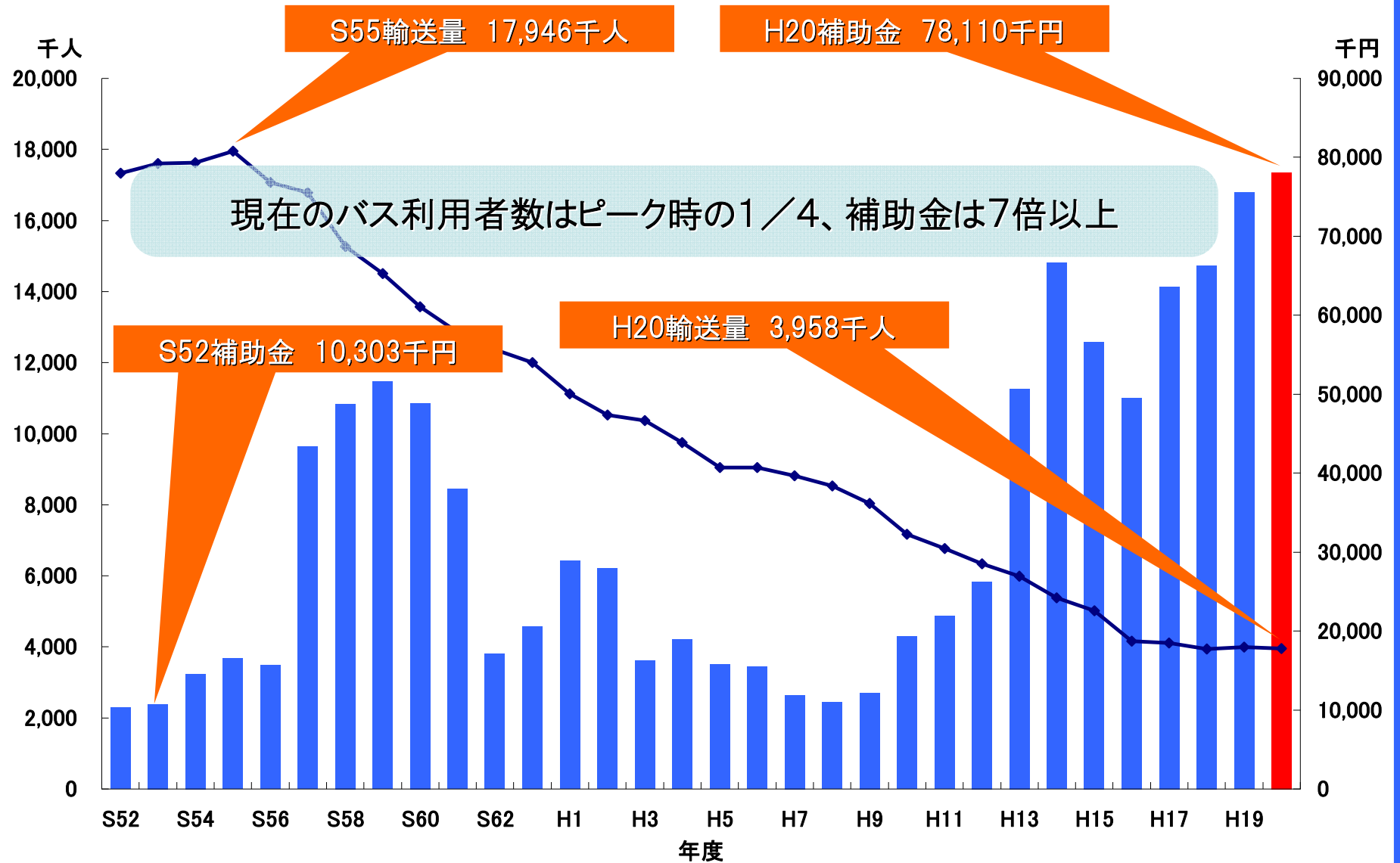


図 圏域別の運転免許保有状況

出典) H17帯広圏パーソナリティ調査
道内他圏域パーソナリティ調査

道内の他都市圏域よりも自動車利用が高い

帯広市のバス交通の現況

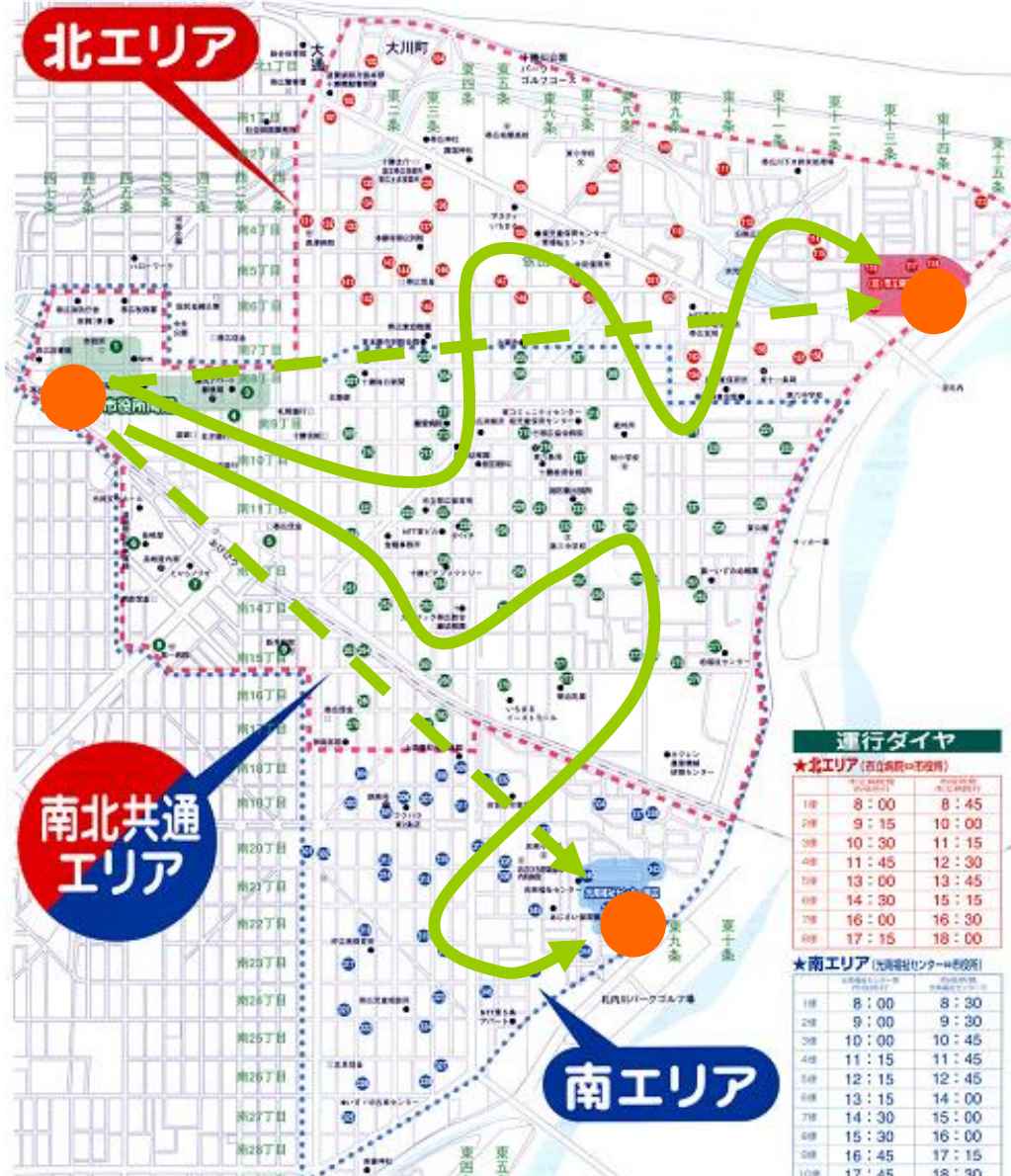


帯広市のバス交通への取り組み

平成13年度	「帯広市バス交通活性化基本計画」策定 ・調査分析から今後のバスサービスを検討
平成14年度	「基本計画」を受けた新交通システムの検討 ・乗合タクシーの需要予測・具体案などの作成
平成15年度	公共交通サービスの実証実験 ・フレックスバス(市街地) ・乗合タクシー(農村部)
平成16年度	公共交通サービスの展開 ・東地区フレックスバス実証実験 ・農村部大正地区乗合タクシー本格運行 ・農村部川西地区調査・検討
平成17年度	公共交通サービスの展開 ・農村部川西地区乗合タクシー本格運行
平成18年度	市街地路線バス網の見直し ・迂回型デマンドの検討
平成19年度	廃油回収とBDFによるバス運行実験 モビリティ・センターの設置・迂回型デマンドバス運行 小学校でのモビリティ・マネジメントの実施 住民を対象としたワンショットTFP
平成20年度	「帯広市地域公共交通総合連携計画」の策定 ・新規路線立案 ・ソフト施策の推進に向けた計画策定
平成21年度	低炭素地域づくり面的対策推進事業 ESTモデル普及推進事業

バスサービスレベルの向上(市街地部)

■ 市街地部におけるフレックスバス



サービスエリア内に
細かくバス停を設置

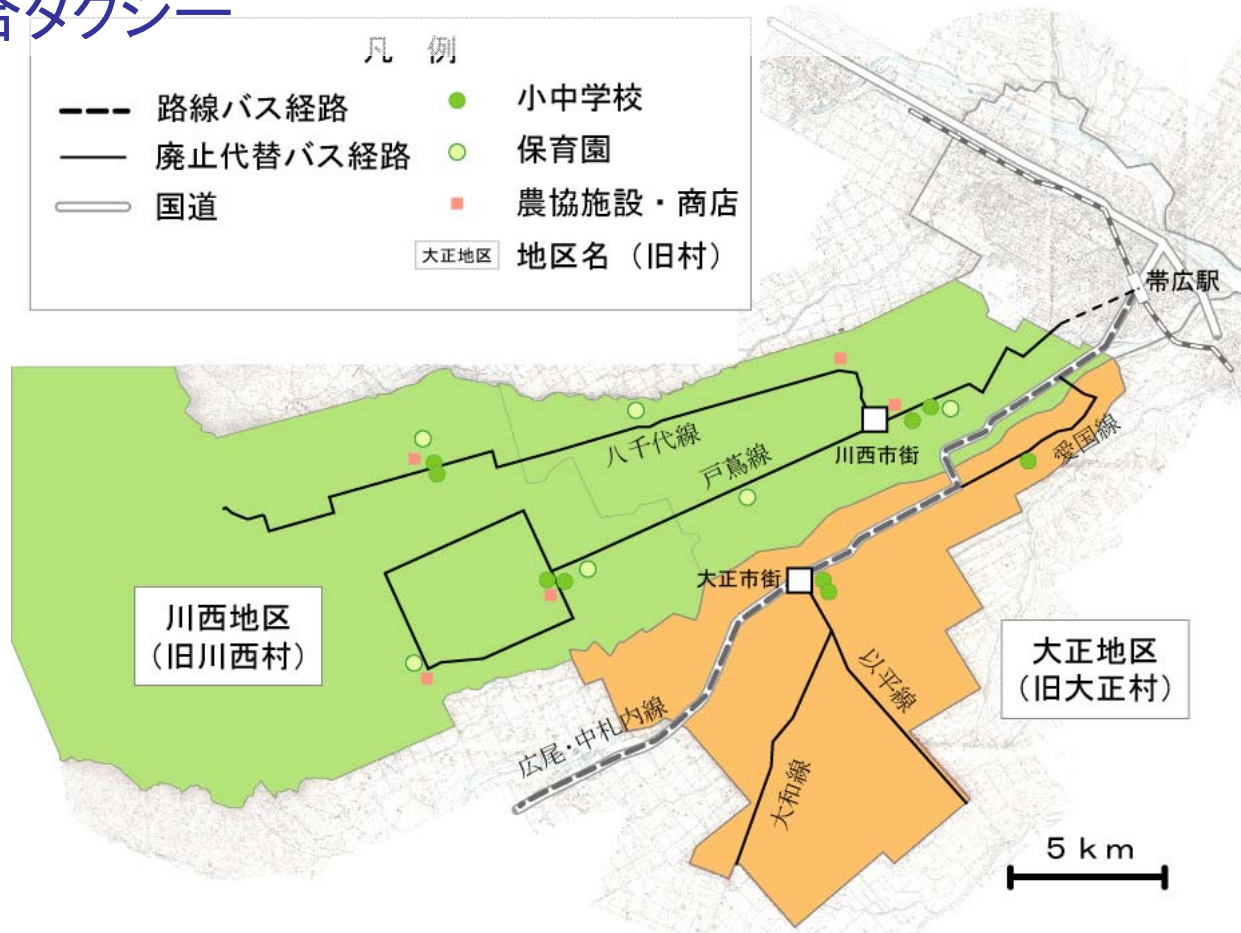
起点と終点を定め、
運行に方向性設定

南北エリア×上下方向
=4ルート
ごとに出発時間を設定

出発時間の30分前まで
予約を受け付け、
予約のあったバス停を
結んで運行する。

バスサービスレベルの向上(農村部)

■ 農村部における乗合タクシー



みんなで利用しようね。事前の予約を忘れないでね

あいのりTAXI

大正地区で

あいのりタクシーが始まる!!

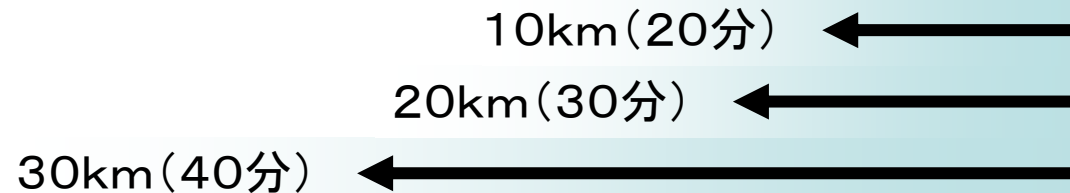
平成15年7月~10月の4ヶ月間
毎週月曜日~土曜日(日曜・祭日はお休みです)
7月(モニター実験期間)→無料運行
8~10月→有料運行/お一人1回500円
乗車日7:00PM
乗降後必ずお支払い

◎タクシーの出発30分前までに予約をしてください。
(15分前まではお断りさせていただきます)

◎大正地区内であれば行きたい場所へどこへでも送迎します。

【利用予約】大正交通 TEL.64-5012
【問合せ】大正交通工務地産開発課 TEL.24-4111 FAX.938-52-9172

帯広からのバス到着時間(大正本町)		大正地区		大正地区		帯広に向かう(大正本町)	
時刻	時刻	時刻	時刻	時刻	時刻	時刻	時刻
6:49	7:09	6:45	7:45	7:54	8:04	8:04	8:39
		8:00	9:00	9:08	9:08	9:08	9:39
9:39	10:59	7:58	8:09	9:00	10:00	10:19	11:24
		12:09	12:29	12:30	13:30	14:19	15:14
		13:09	14:09	14:30	15:30	16:19	16:19
		15:19	15:59	16:30	17:30	17:39	18:39
16:39	17:29	16:29	18:59	19:00	20:00	20:29	



廃食油を用いたバス利用の循環モデル

家庭からの廃食油をバスで回収し、精製したBDF燃料によりバスを運行

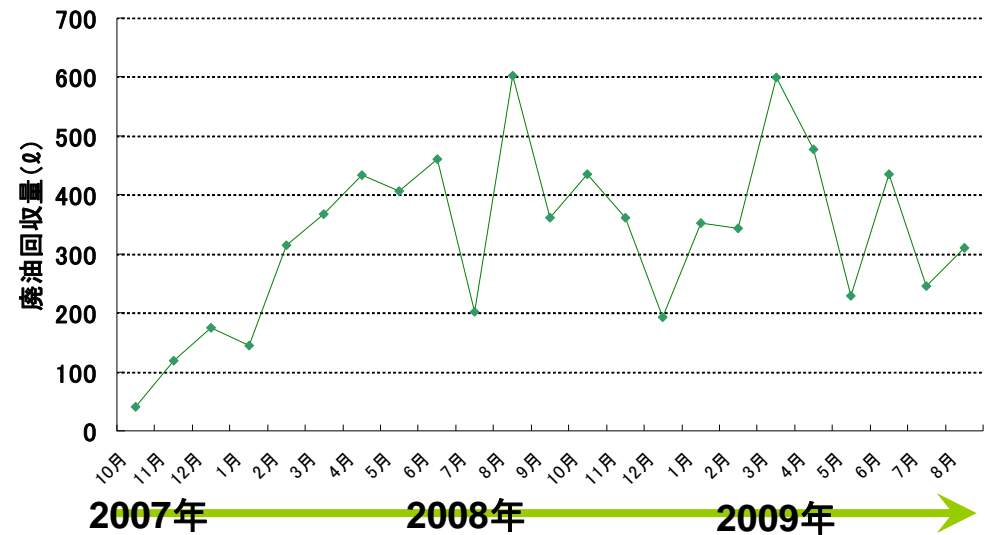


図 バスによる廃油回収量



- 2007年10月より、バス事業者2社で開始
- 2008年8月より、タクシー事業者1社が参加
- バスによる廃油回収量は増加傾向

小学校におけるモビリティ・マネジメント

授業の流れ

内容

実施者

地球温暖化の説明

- CO2が地球温暖化に及ぼす影響

帯広市環境課

交通とCO2の関係の学習

- 交通分野におけるCO2排出の現状
- その解消方法

帯広運輸支局

BDFの仕組みと効果

- 廃食油からBDFの製造までの流れ
- BDFを用いることによる環境負荷軽減効果

(株)エコERC

路線バスの持ち込み(BDF運行バス)

- 廃食油の回収方法の説明
- バスの乗り方・試乗運転

十勝バス(株)・北海道拓殖バス(株)

小学校におけるモビリティ・マネジメント

廃食油から精製したBDFで運行しているバスの持ち込み

バスの乗り方



- 路線図・時刻表の見方
- 駅や図書館などへのバスでの行き方

廃油回収方法



- 実際にペットボトルを回収ボックスの中へ入れる
- 家での廃食油収集方法の説明

児童を乗せて走行



- BDFの“クリーンさ”を実際に体験
- 授業で学んだBDFで走行するバスで実際に町中を運行



小学校におけるモビリティ・マネジメント

MM(授業)実施後に、**実施校**と**未実施校**に対して小学生限定のバス乗車お試し券を配布

- 配布時期 : 冬休み明けの始業式(実施から約1ヶ月/2ヶ月後)
- 配布枚数 : 出前講座実施校(8校)-922枚、出前講座未実施校(2校)-304枚
- 利用期間 : 平成20年1月18日～2月10日(約3週間)



利用枚数の比較

出前講座の実施の有無*によって、バスお試し券の利用に違いがあるか...

*色分けで判別

出前講座	配布枚数	利用枚数	利用率
実施校	922枚	254枚	27.5%
未実施校	304枚	14枚	4.6%

約6倍

H21年度 ESTモデル普及推進事業

■ 市民を巻き込んだ分かりやすいバスマップの作成とバス利用促進

- バス利用の実行意図(いつ?どこで?どのように?)を活性化するにはバスに関する情報提供が不可欠
- 既存の市内のバスマップは新聞社作成
⇒ 広告が多い・時刻表の文字ポイントが小さい 等

市民・交通事業者・商業関係者・行政等によるWSを設け、分かりやすいバスマップを作成する



■ 商店街や地域イベントと連携したバス利用促進

- 商店街や地域イベントと連携し、集客のあるイベントにおいて市民への啓発を実施する
- 小学校での出前講座等と連携し、イベントの来場手段を公共交通へ導く

持続可能な交通を目指して

市民ニーズにあった公共交通がなければ、持続可能な交通の実現は困難

公共交通が整備されたとしても

市民がまずは認知し、「利用しよう」と思っていたいただかなければ、成功はしない

■ 交通サービス

デマンド交通
路線の効率化 etc...

■ 利用促進

モビリティ・マネジメント
の継続的实施

両輪で検討・実施する計画と体制が必須

行政・交通事業者・学校・商工会・BDF製造会社
が一体となり連携した推進体制を構築

ご静聴、ありがとうございました！